

◇トピックス◇

家族会会長挨拶／ご利用者の作品紹介／ユニット行事紹介／苦情対応報告

「ご挨拶」

清風園家族会会長
福間 正人



この度、三月の役員会で会長という大役を受けることとなり、その重責を痛感しているところでございます。微力ではありますが、会員の皆様のご協力をいただきながら職責を全うするよう頑張りますので、どうぞよろしく申し上げます。

二月より新型コロナウ

イルス感染症拡大という状況となり、三密の排除、ステイホームなどの行動の制約があり、会員の皆様も大変な思いをされたことでしょうか。

清風園でも年度当初より、ふれあいの日など、数々の行事が中止となり、ご利用者の皆様に会えない日が続きました。また、家族会も本来四月に行うはずの総会も出来ませんでした。しかし、この状況を前向きにとらえ、今後、どんな時でもご利用者の皆様が安心して生活でき、家族としても心配なく任せられる清風園であるよう、関係各所への提案などをしていきます。そのためにも、家族会の

皆様のご意見を多数いただきましたいと考えております。

以上、家族会の皆様にお願いを申し上げます。



ご利用者N様の作品

ご利用者の作品紹介

切絵 (通所・のぞみグループT様)

T様は色紙を切り画用紙に敷き詰めるように貼るのが得意な方です。一つ一つ丁寧に切り貼りされ、絶妙な色使いが印象的な作品たちです。作品づくりは日々の楽しみのように、とても熱心に取り組まれています。



▲ 切る紙の大きさや形を変えることで同じ手法でも作品によって印象が異なります。

花の写真(あすなるユニットN様)

N様は園内の花壇に咲いている花をデジタルカメラで撮影されています。ピントの調節やアングルを工夫し撮影しているようで作品づくりについては「私が見て綺麗だと思ったので写しました。いろんな花を撮るのが楽しみです。」とコメントされました。写真写真は園内の廊下等に飾っており、写真を多くの方に見て貰うことがモチベーションの向上に繋がっているそうです。

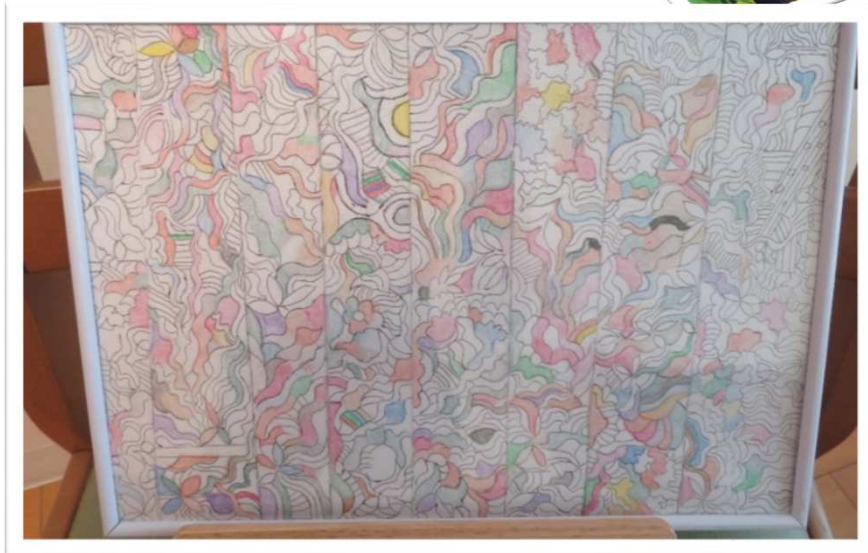


▲ N様お気に入りの一枚「自分なりに上手く撮れたので好きです。」と少し照れながらお答えされました。



線画(こだまユニットM様)

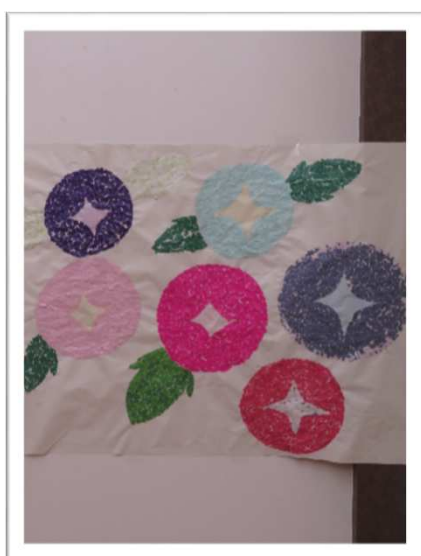
M様は居室でよく絵を描いておられます。生活場面に自身で強いこだわりを持っているM様、その作品にもこだわりの強さや独特な感性が現れています。



ご利用者の作品紹介

夏の装飾（あすなるユニットの皆様）

女性ユニットでは各ユニットで季節の壁画を作成しています。職員がデザインし、ご利用様が色紙をちぎって糊を付け貼っていきまます。今回は夏に向け、アジサイ、朝顔、花火、七夕など素敵な作品が出来ました。ユニットを涼しく飾っています。



俳句（障害者地域生活支援センターせいふうT様）

障害者地域生活支援センターせいふうをご利用のT様は『高崎夢騷』のペンネームで山陰中央新報や月刊デイ等に俳句を投稿されています。今回は数ある俳句の中から一部を紹介します。

玉石の 一つ一つに 神の旅

初蝉や 命の限り 雲の下

コロナ禍や 静の窟の 波涼し

異国めく 灯台夏の 空に立つ

（最近の一句。）

（最近の一句。）

ユニット行事紹介

*クッキング会食（こだまユニット）

六月九日（火）、天気も良く屋外にシェード、ベンチなどを配置しバーベキューを行いました。

調理員がユニットに向き炭火を使った本格的なもので、香ばしい匂いや青空の下の解放感の中、焼き立てのお肉や野菜を召し上がられました。自分の好きな物を選び、おかわりをしたりと普段とは違った空間での食事を楽しみました。



*七夕

女性ユニットでは、七月はユニットごとに七夕の茶話会をそれぞれ行いました。短冊に願い事を書いて、美味しいデザートを食べました。早くコロナが落ち着いて、皆さんの願い事が叶いますように。



苦情対応の報告

内容：

短期利用中のご利用者の方から、コールで呼んだらすぐに来て欲しい、と苦情がありました。

対応：

視覚障害のある方であったため各居室にナースコールはついていませんでしたが、簡易のナースコールを設置しました。

今回は、職員が受信機を携帯することを失念していたことが要因でした。第三者委員を交え、対応策として担当を決め責任の所在を明確することを説明し、解決に至りました。

編集後記

いつもと違う夏がやってきました。ご利用者の皆様は、どこにも行けない、会いたい人にも会えない、といったような制限を抱えながら毎日を送っておられます。しかし、こんなときだからこそいつもと変わらない夏を体験していただくことを大切にしています。本誌で紹介した行事以外にもスイカ割りや花火大会などのイベントを実施し、多くの笑顔を見ることが出来ました。今後も感染症予防に努めながらご利用者の日々の楽しみを増やしていきたいと思えます。